

2020年2月3日～1月31日

海自護衛艦中東へ出航、安倍首相訓示、政局、大統領選

海自護衛艦、中東へ出港 情報収集任務で一横須賀基地

時事通信 2020年02月02日 14時07分



中東海域に向けて出港する海自護衛艦

「たかなみ」を見送る乗員の家族ら＝2日午前、神奈川県横須賀市

中東海域の日本関係船舶の安全確保のため、海上自衛隊の護衛艦が2日、横須賀基地（神奈川県）を出港した。今月下旬からオマーン湾やアラビア海北部などで情報収集の任務に当たる。新規任務での護衛艦の海外派遣は2009年以来、11年ぶり。

2日午前10時40分ごろ、海自隊員208人を乗せた第6護衛隊所属の護衛艦「たかなみ」（4650トン）が同基地を出港。哨戒ヘリコプター2機を搭載し、海賊対処と同様に防弾ガラスや機関銃などを追加で装備した。約3週間で現地に到着し、約4カ月の活動後、次の部隊と交代する。



中東海域への出港を前に、安倍晋三首相

の訓示を受ける海自護衛艦「たかなみ」の乗員ら＝2日午前、神奈川県横須賀市

任務は防衛省設置法の「調査・研究」に基づく情報収集だが、攻撃を受けるなどの不測の事態には海上警備行動を発令して対応する。部隊を指揮する稲葉洋介1等海佐（48）は「しっかり準備してきたので、万全の態勢で臨める。日本船舶の安全確保のために情報収集活動をしっかりやっていきたい」と話した。

出港に先立ち、安倍晋三首相は「任務は国民の生活に直結する極めて大きな意義を有する。誇りと自信を胸に精励してください」と訓示した。

海自の護衛艦が中東海域へ出航 船舶安全のため情報収集

朝日新聞デジタル山下龍一、野平悠一 2020年2月2日 11時24分



護衛艦「たかなみ」で隊員を激励する河野太郎防衛相＝2020年1月25日午前、海上自衛隊横須賀基地、代表撮影



中東海域への自衛隊派遣で、海上自衛隊の護衛艦「たかなみ」（約200人）が2日午前、海自横須賀基地（神奈川県横須賀市）を出発した。日本関係船舶の安全確保のための情報収集が目的。1月20日からは海自のP3C哨戒機2機が現地で活動を始めており、今回が第2陣となる。

出国行事には安倍晋三首相や河野太郎防衛相らが出席した。首相は、「日本関係船舶の安全を確保することは政府の重要な責務であり、そのために必要な情報収集を担う任務は、国民の生活に直結する極めて大きな意義を有する」とあいさつ。その後、隊員の家族らとともに護衛艦を見送った。

政府は、日本は原油輸入の9割を中東に頼るため、海上交通路の安全確保が重要だと説明。昨年12月、防衛省設置法に基づく「調査・研究」を法的根拠とし、自衛隊の派遣を閣議決定した。活動範囲は、オマーン湾、アラビア海北部、バブルマンデブ海峡東側のアデン湾の3海域の公海。ホルムズ海峡やペルシャ湾は含まない。

ここから続き

派遣期間は今年12月26日までで、延長する場合は再度閣議決定が必要だ。護衛艦「たかなみ」は2月中に活動を開始する予定で、不審船がいないか、公海を行き交う船舶の種類などを調べる。護衛艦の部隊は約4カ月交代で任務につく。

政府は、米イランの双方と対話を重ねたうえで、中東情勢は、「これ以上、（事態は）エスカレーションはしないだろう」（河野氏）と判断。自衛隊が武力紛争に巻き込まれる状況ではないとして、予定通りの派遣に踏み切った。（山下龍一、野平悠一）

海上自衛隊の中東派遣 市民団体が抗議 神奈川 横須賀

NHK 2020年2月2日 11時50分



中東地域への自衛隊派遣で護衛艦が出発した、神奈川県横須賀市の海上自衛隊の基地の近くでは、派遣に反対する人たちが抗議活動を行いました。

海上自衛隊の護衛艦「たかなみ」は、2日午前、横須賀基地を出港しました。

基地の近くでは抗議活動が行われ、市民団体のメンバーが護衛艦の出港に合わせて小型のボート2隻を海上に出し、「中東へ行かないで」などと書かれた横断幕を掲げました。

また、隣接する公園では各地から集まったおよそ200人が集会を開き、参加者が派遣に反対するのぼりやプラカードを掲げたり、シュプレヒコールを上げたりしていました。

集会を主催した団体の1つ、神奈川平和運動センターの道田哲朗事務局長は「閣議決定だけで自衛隊を派遣するのはおかしい。本当に自衛隊員の命を守ることができるのか心配だ」と話していました。

中東への自衛隊派遣 海上自衛隊護衛艦部隊が横須賀出港

NHK2月2日 11時39分



中東地域への自衛隊派遣で、海上自衛隊の護衛艦の部隊が2日午前、神奈川県横須賀基地を出港しました。今回は、防衛省設置法の「調査・研究」に基づいて、1年単位の長期間にわたり、自衛隊が海外に派遣される初めてのケースで、今月下旬から現地ですべての任務を始める予定です。



派遣されるのは海上自衛隊の護衛艦「たかなみ」で、2日午前、横須賀基地で、安倍総理大臣も出席して出発式が行われました。この中で、派遣部隊の指揮官を務める稲葉洋介1等海佐が中東地域への出発を報告しました。

護衛艦は隊員が乗り込んだあと、午前10時半すぎ、家族らが見送る中、出港しました。

護衛艦にはヘリコプター2機を搭載し、部隊は隊員およそ200人で編成され、イランとアラビア半島の間にあるオマーン湾などで、日本に関係する船の安全を確保するために必要な情報収集にあたります。

今回の中東地域への派遣では、P3C哨戒機の部隊が先月からソマリア沖のアデン湾で、海賊対策の活動と並行して情報収集の任務にあたっています。

今回は、防衛省設置法の「調査・研究」に基づいて1年単位の長期間にわたり、海外に自衛隊が派遣される初めてのケースで、日本に関係する船が襲撃されるなど、不測の事態が発生した場合には、海上警備行動を発令して、対応するというのです。

「たかなみ」は、今月下旬に現場海域に到着して、任務を始める予定です。

安倍首相が訓示「極めて大きな意義」



出発式で安倍総理大臣は派遣される隊員に訓示し「諸官がこれから赴く北アラビア海、オマーン湾は年間数千隻の日本関係船舶が航行し、わが国で消費する原油の約9割が通過する。日本国民の生活を支える、大動脈、命綱といえる海域だ。日本関係船舶の安全を確保することは、政府の重要な責務であり、そのために必要な情報収集を担う諸官の任務は、国民の生活に直結する極めて大きな意義を有する」と述べました。

そのうえで「わが国は米国と同盟関係にあり、同時に、イランを

含む中東各国と長年良好な関係を築いてきている。イランのロウハニ大統領に自衛隊派遣について直接説明し、わが国の意図について理解を得た。今後も、こうした日本ならではの外交努力を尽くす」と述べ、引き続き、中東の緊張緩和に向けた外交努力に取り組む考えを示しました。

指揮官「教育訓練踏まえ必要な対応」



派遣部隊の指揮官を務める稲葉洋介1等海佐は2日、出港を前に、記者団に対し「しっかり準備をしてきたので、今回の任務に万全の態勢で臨めると思っている。日本船舶の安全確保のために情報収集活動をしっかりやっていきたい」と述べました。

そのうえで、不測の事態への対応については「事態や対象船舶によって対応できる内容が異なるが、それについてはしっかり教育訓練をしてきた。教育訓練を踏まえ必要な対応はやりたい」と述べました。

調査研究に基づく派遣 武器使用の判断 難しい状況も

今回は「調査・研究」に基づく派遣で、不測の事態が発生した場合には海上警備行動を発令して対応することになっていますが、保護するのが日本船籍の船か、襲撃を行っている相手が誰かによって武器の使用などの対応が異なり、状況によっては難しい判断を迫られることになります。

◎保護対象が日本船籍

防衛省によりますと、このうち日本船籍の船に対する襲撃の場合、まず、相手の船に対し、無線や拡声機を使ってさまざまな言語で呼びかけて所属や目的を確認し、行為がやまない場合には停船などを要求し、それに従わない場合には武器の使用を警告します。それでも従わない場合、必要と認められる範囲内で警告射撃などの武器の使用を行うことができます。

◎保護対象が日本船籍以外

一方、外国船籍の船に対する襲撃の場合、日本人が乗っている船や日本の会社が運航する船など日本に関係する船であったとしても、武器の使用は難しいということです。

防衛省は「船の保護は船籍を登録している国が行う」という国際法上の原則があるためだと説明していて、外国船籍の日本関係船舶の場合は、相手の船に近づいて襲撃をやめるよう呼びかけるなど強制力を伴わない範囲で、できるかぎりの対応をとるとしています。

◎国などによる襲撃の場合

また、襲撃を行っている相手が国や国に準ずる組織だった場合、武器を使用することは海上警備行動の権限を超えているとされています。

去年6月に、ホルムズ海峡付近でタンカーが攻撃を受けた事件では、イランやイランの「革命防衛隊」の関与をアメリカなどが指摘していますが、こうした場合には武器を使用することは困難だとしています。

元海将「任務増も安全確保を」

自衛隊の中東地域への派遣について、去年まで海上自衛隊で自衛

艦隊司令官を務めた元海将の山下万喜さんに聞きました。

「調査・研究」に基づく派遣については、「海上自衛隊では日頃、わが国周辺の日本海や東シナ海で何が起きているか情報収集しながら緊迫した環境のなかで警戒監視を続けていて、今回の活動は、その延長線上にあると認識している」としています。

そのうえで、「行動をどこまでやっているのかという行動基準に従って、何をしたらいいのかをずっと怠らずに検討し、必要なら訓練をすることが、極めて重要な注意点だ。現場部隊が何かを判断しなければいけないところで迷わないようにしていくことがこれから重要だ」と指摘しています。

また、海上自衛隊の任務が増えていることについて、「1隻増やして派遣するということはどこかにインパクトがあると言わざるをえない。任務そのものも余裕がなくなっているのではないかと思う。任務が増加しているなかで、いかに隊員の練度を保ちながら安全を確保するか、そのバランスが大事で安全をおろそかにするような状態になってはいけません」と指摘しています。

海自の艦艇運用はひっ迫

海上自衛隊では、中国の海洋進出や北朝鮮の弾道ミサイルへの対応などを背景に任務が増えています。

海上自衛隊の艦艇は、日本周辺の海域でふだんから警戒監視を行っていて東シナ海では、中国海軍の尖閣諸島周辺での活動など海洋進出の活発化を背景に、継続的な警戒にあたっています。

また、3年前から国連の安保理決議に反して北朝鮮の船舶と外国の船舶が洋上で物資を積み替えるいわゆる「瀬取り」の警戒のため監視にあたっています。

さらに、防衛省関係者によりますと、北朝鮮による相次ぐ弾道ミサイルの発射を受け、去年11月以降、イージス艦を日本周辺の海域に展開させて警戒にあたっています。

これに加えて、今回、新たに中東地域に護衛艦1隻が派遣されるのに伴い、次の派遣に備えて別の護衛艦も準備の態勢をとる必要があるということで、艦艇の運用がさらにひっ迫すると指摘されています。

海上自衛隊トップの山村浩海上幕僚長は、先月の記者会見で、「新たに1隻、海外に派遣することで装備のふり回しは厳しくなる。国内で通常行っている業務を削ることも検討している」と述べています。

あくまで「調査・研究」…困難な任務が待つ中東へ

ANN2020/02/02 14:51

緊張が続く中東海域で情報収集活動を行うため、海上自衛隊の護衛艦「たかなみ」が神奈川県横浜の横須賀基地を出港しました。

安倍総理大臣：「日本関係船舶の安全を確保することは政府の重要な責務であり、そのために必要な情報収集を担う諸官の任務は、国民の生活に直結する大きな意義を有するものです」

中東に向けて出発したたかなみの派遣の名目はあくまで「調査・研究」です。日本の船を直接、守るためではありません。攻撃を受けるなど万が一の事態が発生した場合には、武器の使用を認める「海上警備行動」に切り替えることも想定しています。しかし、それでも武器を使って守れるのは日本籍の船のみです。日本人が乗っている外国籍の船が攻撃されても、進路を妨げることや大音量で警告するといった行為しかできません。限られた枠組

みのなかでどこまで役割を果たせるのか、現場の自衛官は難しい判断を迫られる可能性もあります。

海自護衛艦「たかなみ」出港 中東で情報収集任務へ 涙ぐむ隊員の家族も...

FNN2020年2月2日 日曜 午後5:47

中東地域への派遣命令を受け、海上自衛隊の護衛艦「たかなみ」が2日、神奈川県横浜の横須賀基地を出港した。

岸壁には、涙ぐむ家族の姿も見られた。

拍手に包まれ、乗艦する隊員。

そして、涙ぐむ女性の姿も...

海上自衛隊の横須賀基地では、護衛艦「たかなみ」の出国行事が行われ、中東に派遣される隊員208人と、隊員を見送る、およそ550人の家族らが、しばしの間、別れを惜しんだ。

「たかなみ」は、中東のオマーン湾やアラビア海北部で、日本に關係する船舶の安全確保のため、情報収集の任務を担う。

「たかなみ」の任務は4カ月間で、6月には別の護衛艦と交代して、帰国する見通し。

安倍首相「心配や不安もある中、伴侶であり、お子さんであり、お父さんである、大切な方々をこのように任務に送り出していく。ご家族の皆さまが、安心して日々を過ごしていただけるよう、政府として、万全の態勢をとることをお約束いたします」

危険がともなう任務に就く隊員には、1日2,000円の「特殊勤務手当」が支給され、衛星を使ったインターネットで、家族と1日1回程度、通話やメールもできるという。

防衛省は、家族向けの相談窓口を設置するなど、支援態勢を強化している。

首相官邸HP令和2年2月2日

令和2年2月2日、安倍総理は、海上自衛隊横須賀地区で派遣情報収集活動水上部隊出国行事等に出席しました。



栄



誉

礼



び



儀

総理は、儀じょう隊による栄誉礼及び儀じょうに続き、護衛艦「たかなみ」を艦内視察し、その後、出国行事で訓示を行いました。

総理は、訓示の中で次のように述べました。
「護衛艦『たかなみ』の出国に当たり、自衛隊の最高指揮官たる内閣総理大臣として一言申し上げます。

本日、稲葉司令、新原艦長を始めとする、諸官208名の、士気旺盛な姿に接し、大変頼もしく感じました。また、諸官を直接激励することができ、大変嬉（うれ）しく思います。

去る1月11日の夕方。私を乗せた政府専用機は、サウジアラビアに向かう途中、夕焼けに染まる北アラビア海、オマーン湾の、正に上空にありました。諸官がこれから赴く海域です。これらの海域は、年間数千隻の日本関係船舶が航行し、我が国で消費する原油の約9割が通過します。そこは日本国民の生活を支える大動脈・命綱と言える海域です。これら日本関係船舶の安全を確保することは、政府の重要な責務であり、そのために必要な情報収集を担う諸官の任務は、国民の生活に直結する、極めて大きな意義を有するものです。諸官の任務の遂行に当たっては、関係国の理解と、この地域の緊張緩和と情勢の安定化のための努力が必要なことは言うまでもありません。

我が国は、米国と同盟関係にあり、同時にイランを含む中東各国と長年良好な関係を築いてきています。私自身、先般中東各国を訪問し、自衛隊の派遣を完全に支持する、協力支援を惜しまない、との力強いサポートを得ました。また、イランのローハニ大統領に直接説明し、我が国の取組の意図について理解を得ました。今後も、こうした日本ならではの外交努力を尽くしてまいります。

『たかなみ』の乗員諸官。この重要な任務に、限られた時間でしっかりと準備を整え、士気高く臨んでくれている諸官一人一人に、敬意と感謝を表したいと思います。船舶運航関係者、日本企業、そして国民が、諸官の活動と『たかなみ』のプレゼンスを大変心強く思っています。

また、御家族、関係者の皆様には、日頃『たかなみ』の乗員諸官を支えていただき、本当に有難うございます。心配や不安もある中、伴侶であり、お子さんであり、お父さんである、大切な方々を、このように任務に送り出していただき、心から感謝を申し上げたいと思います。自衛隊の最高指揮官である内閣総理大臣として、『たかなみ』の乗員諸官が安心して、その任務に専念し、その任務を無事完遂できるよう、また、御家族の皆様が安心して日々を過ごしていただけるよう、政府として万全の態勢をとることをお約束いたします。

『たかなみ』の乗員諸官。諸官が遠く中東の洋上にあっても、私と日本国民は、常に諸官と共にあります。諸官におかれては、その誇りと自信を胸に、任務に精励してください。」

桜を見る会参加者増、安倍首相突出 「長年の慣行」との釈明に矛盾

2020/2/2 17:33 (JST) 2/2 17:45 (JST) updated 共同通信社



「桜を見る会」で招待者と記念写真に納

まる安倍首相と昭恵夫人（中央）ら

歴代長期政権ごとに「桜を見る会」の参加者数を、開催初年と最多だった年で比較したところ、安倍晋三首相の増加数が6470人と突出していることが2日、内閣府資料の分析で判明した。2番目は小泉純一郎氏の2576人で、中曽根康弘氏の1686人が続いた。安倍首相は「長年の慣行」の中で参加者が膨れ上がったと釈明するが、初回が最も多かった首相も複数存在しており、矛盾を指摘される可能性もある。

1955年以降に3回以上連続で桜を見る会を開いた首相を比較した。

第2次安倍内閣として最初の2013年の参加者は1万1760人。19年は1万8230人と約1.6倍に膨らんだ。

【教育コラム】不思議でならない ～大学入試改革、仕切り直しに思う～

時事通信 2020年02月02日 18時00分



文部科学省で開かれた「大学入試の

あり方に関する検討会議」の初会合＝1月15日

大学入学共通テストの英語民間試験活用と記述式問題導入の見送りを受けて、1月15日に「大学入試のあり方に関する検討会議」の初会合が開催された。

200席ほどの傍聴席はいっぱいで、萩生田光一文部科学相の冒頭あいさつから始まった約2時間の議論に耳を傾けていた。しかし、今後どう議論が流れるのか、さぞ不透明感ばかりが募ったことだろう。

開始後1時間ほどが過ぎ、萩生田文科相が公務のため中座するというで発言した。

まずは、今回の見送り判断について、政権の支持率低下を憂慮したものだという一部報道を否定し、「局の皆さんと夜な夜な真剣な議論をし、多くの皆さんの声を聴いて」最終決断したものだ」と説明した。

驚いたのは「どこかで1回、雰囲気の良い会議をクローズ（非公開）でやったらいかか」と提案したことだ。

文科省や委員同士の批判を想定してのことらしい。すぐ「文科省側もいろいろな思いはあるだろうが、すべてオープンにして話をしていただきたい」と付け加えたところを見ると、ターゲットはむしろ文科省事務方なのだろう。

さらに、萩生田文科相は706校がセンター試験を利用しているという事務方の説明にも、かみついた。

学部・学科の一部定員が利用しただけでも1校とカウントしていることに、「変な数字のマジックは要らないから、裸の数字を出して先生方に議論してもらって準備してほしい」と注意した。

矛先は大学関係者にも向けられた。「あれだけ『4技能は大切だ』『記述式も大切だ』と会う人すべてが言っていたのに、文科省がやめたからといって自力でやる学校がないのは、私は不思議ではない」。

昨年12月3日の記者会見でも、国立大学の8割が民間試験を活用しないと判断したことに、「ずいぶん非積極的だな」と感想を述べていた。

こうした発言に、ある委員は「自分の言っていることが分かっているのか。自己弁護しながら、まるで英雄気取りだ。オープンにしろというなら『桜を見る会』（名簿廃棄問題）でもやれっという話だ」と憤っていた。

萩生田文科相はまた、二つの改革の問題点について「私が気付いたことは野党も指摘していたし、議事録を見ると専門家の先生たちも問題提起していた。なぜ、ここまで来てしまったのか不思議でならなかった」とも述べていた。

しかし、その「不思議」な状況を作り出した責任は、むしろ政権の側にあったのではないかと。直接には文科省が主導したとしても、それは付度（そんたく）のまん延によるものだ。

先の委員も嘆いていたように、こちらが不思議でならない(N)【「内外教育」1月24日号より】。



陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」配備をめぐり、河野太郎防衛相と秋田県の佐竹敬久知事が31日、防衛省で初めて会談した。秋田市の陸上自衛隊新屋（あらや）演習場を候補地とする計画について、佐竹氏は改めて受け入れられない考えを伝達。政府内では新屋の見直し論があり、同県内の別の場所への配備も模索している。

「新屋は県として配備を理解する状況にはない」。会談冒頭、佐竹氏はこうクギを刺し、河野防衛相は「本当の意味でのゼロベースでしっかり検討していく」と応じた。会談後の県側の説明によると、河野氏は今後、新屋演習場を視察する意向を示した。さらに配備地を判断する上で「住宅地からの距離は重要な要素だ」と述べたという。

防衛省は昨年5月、新屋と山口県萩市の陸自むつみ演習場の2カ所をアショア配備の適地とする報告書を公表。しかし、ずさんな調査だったことが発覚し、防衛省は再調査を始めた。東北地方では新屋を含め、青森、秋田、山形3県の計20カ所を調査。今年度内に調査を終える予定だ。ただ、新屋は住宅地から700メートルと近く、県側は見直しを強く求めている。

昨年11月に佐竹氏と面会した菅義偉官房長官は、配備先の再検討の際、住宅地との距離を考えるよう防衛省に指示。政府内では新屋への配備について見直し論が浮上していた。

秋田県内の候補地は、新屋も含め、能代市など日本海沿いの5市内にある10国有地。防衛省には、なお見直しに慎重な意見も根強い。北朝鮮の弾道ミサイルの脅威に備えるため、秋田、山口両県の東西2カ所で日本全体をカバーする方針を堅持したい考えだ。

同省幹部は「新屋は難しいが、…」
残り：461文字／全文：1143文字

秋田知事、新屋配備に難色 河野防衛相に計画見直し要請―陸上イージス

時事通信 2020年01月31日 19時04分



陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」をめぐり会談する河野太郎防衛相（左）と佐竹敬久秋田県知事（中央）ら＝31日午後、防衛省

河野太郎防衛相は31日、秋田県の佐竹敬久知事らと防衛省で会い、陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の同県への配備について意見を交わした。佐竹氏は、候補地の陸上自衛隊新屋演習場（秋田市）が住宅地に近接していることなどを理由に「（配備は）理解できない」と改めて見直しを求めた。

これに対し河野氏は「住宅地からの距離は重要な考慮要素だ。地元の理解をいただきながらゼロベースで進めたい」と再検討の状況を説明。最終的な判断に当たり、自身が現地を視察する考えも伝えた。

イージス、新屋断念でも秋田県内で模索 防衛相視察へ

朝日新聞デジタル 神野勇人、金子和史、山下龍一 2020年1月31日 20時35分



アフガニスタン支援 中村哲医師をしのぶ会 東京 練馬

NHK 2020年2月2日 6時51分



去年12月、アフガニスタンで銃撃されて亡くなった医師の中村哲さんをしのぶ会が1日、東京 練馬区で開かれました。医師の中村哲さんは、NGO「ペシャワール会」の現地代表としてアフガニスタンで長年、人道支援と復興に力を尽くしてきましたが、去年12月、現地で銃撃され亡くなりました。

1 日夜、中村さんをしのぶ会が東京 練馬区で開かれ、およそ 600 人が参加しました。

会では、はじめに全員でおよそ 1 分間、黙とうをささげました。続いて「ペシャワール会」の村上優会長が講演し、「中村哲先生は亡くなったが、彼の思いを抱きながら事業を続けられるよう支援いただきたい」と述べると、会場からは大きな拍手が送られました。

このあと、会ではアフガニスタン出身の支援者や現地でも共に活動した JICA＝国際協力機構の職員などゆかりのある人たちが中村さんへの思いを語ったり、功績をたたえたりしていました。ペシャワール会はアフガニスタンでの支援活動を続けることにしていて、次の世代に中村さんの思いをつなげるため、中村さんが残した文章や写真などをまとめる予定だということです。

参加した 37 歳の女性は「アフガニスタンはニュースの中の遠い世界だったが、中村さんの活動を通じて、これからはひと事ではない世界の問題として考えていきたい」と話していました。

身近なSDGs活動にポイント 時差出勤、レジ袋削減で一東京都

時事通信 2020 年 02 月 02 日 09 時 10 分



東京都は、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）に沿った活動をした人に、ポイントを付与する実証事業を行っている。電車の混雑緩和につながる時差出勤や、プラスチックごみを減らすためのレジ袋削減などに取り組むとポイントがたまる仕組み。ポイントはQRコード決済などで使え、社会貢献とキャッシュレス化を同時に促す狙いだ。2020年度も試行を続ける方針。

実証事業は、大手町、丸の内、有楽町地区の「オフィス型」と、東急沿線地域などの「生活型」を実施。1ポイントは1円に相当し、それぞれ2500万円分、計5000万円分のポイントを発行する。

オフィス型では、利用者が時差出勤をすると1回につき200ポイント、コンビニの一部店舗でレジ袋を断った場合50ポイント、再利用可能な容器を使用した弁当を購入し返却すると400ポイントをもらえる。オフィス入り口やコンビニのレジなどでQRコードを読み取ることでポイントを受け取り、たまった分は地区内のカフェをはじめとした協力店舗で使える。

生活型は交通系ICカードの通勤定期券の利用を条件に、通勤時間帯としては早い始発～午前6時台と、遅い時間帯の午前9時半～10時半に、都区内の東急線駅から乗車すると期間に応じて20～100ポイントもらえる。都内の東急ストアでは、マイバ

ッグを持参して買い物をした場合ポイントカードに付与される。

都は、事業を通じて時差出勤やレジ袋の使用抑制などの行動変化につながったかどうかを検証。20年度の試行結果も踏まえて、本格導入を検討する。

弾劾裁判 トランプ大統領に無罪評決へ

NHK2020年2月1日 14時25分



アメリカのトランプ大統領の弾劾裁判は、最大の焦点となっていたボルトン前大統領補佐官への証人尋問が実現しないまま、来週、有罪か無罪かの評決を出すことになりました。議会上院は無罪を支持する与党が過半数を占めるため、トランプ大統領に無罪評決が下される見通しです。

トランプ大統領のウクライナ疑惑をめぐる弾劾裁判は、31日の審理で最大の焦点となったボルトン前大統領補佐官の証人尋問に必要な証人の召喚を求める動議を採決しました。

その結果、与党・共和党の造反は2人にとどまり、動議は賛成49、反対51で否決されました。

野党・民主党としては、ボルトン氏の証言でトランプ大統領の不正を印象づけたい思惑でしたが、実現できず、議会上院の民主党トップ、シューマー院内総務は「最悪の悲劇だ。アメリカはきょうという日を、真実から目を背け偽りの裁判を認めた日として記憶に刻むことだろう」と批判しました。

これに対し、トランプ大統領と共和党は裁判での最大の懸案を乗り越えたことになり、野党側に早期に裁判を決着させる方針を示しました。

これを受けて、週明けの3日に最終弁論を行ったうえで、5日の午後4時、日本時間の6日午前6時から陪審員役の上院議員が有罪、無罪のどちらを支持するかを表明する最後の手続きを行い、評決を出すことになりました。

大統領を罷免するには出席議員の3分の2以上が有罪を支持する必要がありますが、議会上院は無罪を支持する与党が過半数を占めるため、その可能性は極めて低く、トランプ大統領に無罪評決が下される見通しです。

アメリカ史上、3回目となる大統領の弾劾裁判は終始、与党のペースで進み、真相が解明されたのか疑問を残す結果となりそうです。

米弾劾裁判 大統領選の民主党候補者指名争いに思わぬ形で影響

NHK2020年2月1日 10時54分



アメリカ大統領選挙に向けた候補者選びの初戦となるアイオワ州では、民主党の指名獲得を目指す有力候補が議会上院で続くト

ランプ大統領の弾劾裁判に出席するため現地入りできず、代わって家族や仲間の政治家が終盤の選挙活動を担うなど、思わぬ形で影響が出ています。

アメリカ大統領選挙に向け、中西部アイオワ州では来月3日、全米で最初の党员集会が行われますが、民主党の指名獲得を目指す上院議員3人は議会上院で続くトランプ大統領の弾劾裁判に出席するため現地入りできず、代役を立てて選挙活動を行っています。

このうちサンダース上院議員の陣営が31日、州都デモインで開いた会合ではサンダース氏の妻ジェーンさんが20人余りの有権者に「皆さんの協力が必要です。いまこそ私たちが協力すればこの国を作り変えることができます」と本人に代わって支持を呼びかけました。

また、別の集会では、サンダース氏に近いソマリア出身のオマル下院議員が登場し「健康保険制度の拡充や奨学金の返済免除を実現し、子どもたちに家と温かい食事を与えられるのはサンダース氏しかない」と訴えました。

アイオワ州ではサンダース氏とウォーレン氏の上院議員2人に、バイデン前副大統領と若手のブティージェッジ氏を加えた4人の支持率がきつ抗していますが、トランプ大統領の弾劾裁判が終盤の選挙戦に影響を及ぼす形となっています。